



2. 吹付けロックウールの一般事項

Q2-1：吹付けロックウールの乾式、半乾式はどう違うのですか？

A：吹付けロックウールは、その吹付け工法の違いによって以下のように分類されています。

1. 乾式工法

この工法は工場配合材料を用いる工法で、あらかじめ工場でロックウールとセメントを配合した材料を、吹付け施工機械で圧送し、ノズル先端の周囲から噴霧される清水で包み込み、材料を湿潤させながら均一に下地面に吹付ける工法です。

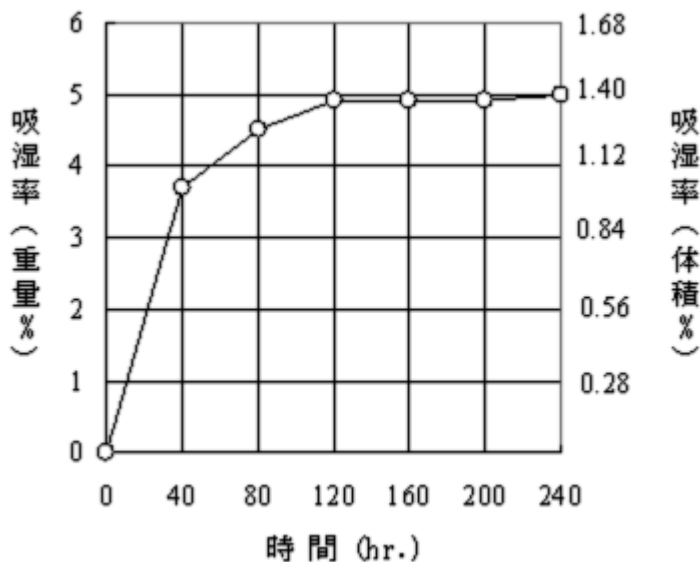
2. 半乾式工法

この工法はセメントスラリーを用いる現場配合工法で、「半湿式工法」と呼ばれることもありますが、日本建築学会建築工事標準仕様書 JASS6「鉄骨工事」では「半乾式工法」と呼んでいます。

清水とセメントをあらかじめ攪拌装置のあるスラリー槽で混合してセメントスラリーを作り、ロックウールと別々に圧送し、ノズル先端部で噴霧化されたセメントスラリーとロックウールを混合しながら均一に下地面に吹付ける工法です。

Q2-2：乾燥後の吹付けロックウールの吸湿率は何のくらいですか？

A：経過時間に対する吸湿率は下図の通り



経過時間と吸収率のグラフ

(20℃ 90～95%RH の恒温恒湿室に放置した場合)

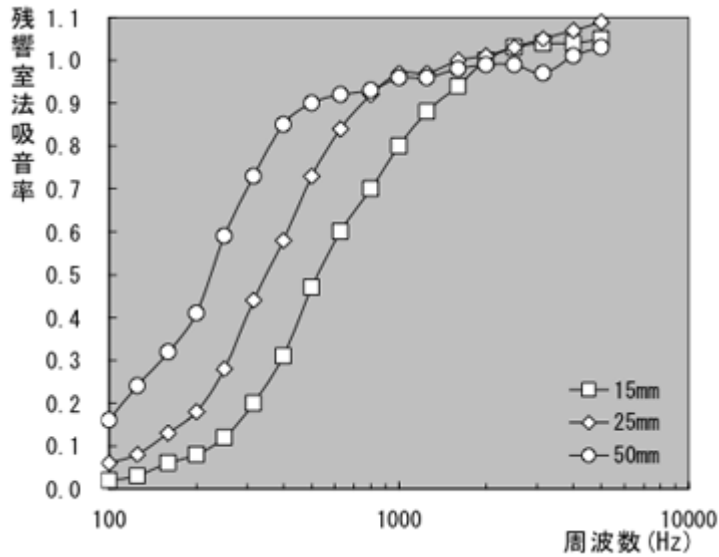
120 時間で 5%(重量%)、1.4%(体積%)を吸水する。

それ以上放置しても吸湿率に変化はない(重量%、体積%共平衡状態を示す)。



Q2-3：吹付けロックウールの吸音性はどうですか？

A：吹付けロックウールの吸音性は下に示す試験結果の通りです。



半乾式吹付けロックウールの吸音率(剛壁密着：JIS A 1409:1998に準拠)

厚さ \ 周波数(Hz)	250	500	1000	2000	4000
15mm	0.12	0.47	0.80	1.00	1.04
25mm	0.28	0.73	0.97	1.01	1.07
50mm	0.59	0.90	0.96	0.99	1.01

吹付け厚さによって吸音特性が異なりますので、吸音を目的とする場合には、その用途に応じ、適切な施工厚さを選定する必要があります。